



多文化共生まちあるき

—大久保に暮らす人びとと私たち—

日本に住む外国人の人口は340万人を超え、そのうち都内には約66万人が暮らしています。同じ地域に生きる一員として、どのように彼らと共に暮らしていけば良いのでしょうか。

日本最大の多国籍タウン・新宿区大久保地域を歩きながら、そのヒントを見つけてみませんか？フリーライターの室橋裕和氏をゲストに迎え、新大久保駅周辺の様々な場所をガイドしていただきます。終了後は希望者で本場の海外料理でランチをしましょう！

定員：15名

会場：新宿区大久保地区

お申込みの方に集合場所をお知らせします



ゲスト 室橋裕和氏

フリーライター。1974年生まれ。週刊誌記者を経てタイに移住。現地発の日本語情報誌に在籍し、10年にわたりタイおよび周辺国を取材する。帰国後はアジア専門のライター、編集者として活動。主な著書に『ルポ新大久保 移民最前線都市を歩く (2020, 辰巳出版)』、『北関東の異界 エスニック国道354号線—絶品メシとリアル日本— (2023, 新潮社)』、『カレー移民の謎 日本を制覇する「インネパ」 (2024, 集英社)』等。



日時・会場

- 分科会名：多文化共生まちあるき－大久保に暮らす人びとと私たち－
- 日時：2025年2月9日(日)：10:00～12:00
- 参加方法：新宿区大久保地区周辺に現地集合
(お申込みの方に集合場所をお知らせします)
- 定員：15名

市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2025について

「分科会15：多文化共生まちあるき－大久保に暮らす人びとと私たち－」は「市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2025」の分科会の一つです。このフォーラムでは、暮らしの中から見えてきた社会課題について、私たちに何ができるのかを一緒に考えていきます。

今年のテーマは「Vamos! 市民社会のミライ～そのときわたしたちは何をしているだろうか?」みなさまのご参加をお待ちしています。

- 開催期間 2025年2月8日(土)～9日(日)
- 会場 飯田橋セントラルプラザ・オンライン(Zoom)・ほか
- 参加費 1分科会1,000円
 - *会場参加・フィールドワークの3分科会以上は3,000円(オンラインへの変更不可)
 - *学生(専門学校含む)または18歳未満の方は無料
- 企画 ボランティアフォーラム TOKYO 2025実行委員会
- 主催 東京ボランティア・市民活動センター
- アクセス
JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手
地下鉄 有楽町線・東西線・南北線・大江戸線 飯田橋駅 B2b出口



参加申し込み方法

- 「分科会15：多文化共生まちあるき－大久保に暮らす人びとと私たち－」への参加を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。(同時にほかの分科会への参加も申し込むことができます)
- 参加費の支払いが完了すると、参加券がダウンロードできます。
- ホームページからのお申し込みが難しい方は、以下までお問い合わせください。



[お問い合わせ・お申し込み先]

東京ボランティア・市民活動センター 後藤・山添・太田・吉田・高山
〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階
TEL 03-3235-1171
FAX 03-3235-0050
HP <https://www.tvac.or.jp/vf/>

Facebook



X(旧Twitter)



Instagram



YouTube

